

鋼造船所施設状況報告書【記載例】

所在地 福岡県〇〇市××1-1-1
 造船所 名称 株式会社 〇〇造船所

(平成30年12月31日現在)

敷地総面積（工場構内）		130,000 m ²	
船台	船台番号		No.1
	製船 造し 得る 船	最大長（垂線間）（m）	100.00
		最大幅（型）（m）	30.00
		総トン数（T）	15,000
	平均潮高時における陸上耐圧部の長さ（m）		110.00
	平均潮高時における水中耐圧部の長さ（m）		90.00
	盤木部において最大重量を支え得る船台面の幅（m）		30.00
	進水の際における最大「フオアフト」耐圧力（t/m ² ）		100.00
	傾斜		5°～10°
	せきとびらの有無		有
備考			
ドック （建造 を含む）	ドック番号・種類		
	入る き船 よし 得	最大長（垂線間）（m）	
		最大幅（型）（m）	
		総トン数（T）	
	浮揚させうる重量（浮ドックの場合）（t）		
	ド長 ツク のさ	きよ底平坦部（m）	
		きよ底の頭端より最外戸まで（m）	
		上部の頭端より最外戸まで（m）	
	ド ツク の 幅	きよ 口	上部において（m）
			下部において（m）
			平均潮高線において（m）
	の 幅	きよ 内	上部において（m）
			下部において（m）
	ド深 ツク のさ	き底 央の よ り 口 中 り	上端まで（m）
			平均潮高線まで（m）
きよ底中央より上端まで（m）			
排水ポンプが一時間に排水しうる平均水量（t）			
備考			

※本報告書は、前回この報告書を提出された時の記載事項と変更がない場合は提出が不要となります。

※提出する場合、工場全体の配置図を報告書に添付してください。

該当設備なし

引揚船台（船架を含む。）	引揚船台番号		
	引船 揚 げ 得 る 船	最大長（垂線間）（m）	
		最大幅（型）（m）	
		最大重量（t）	
		総トン数（T）	
	平均潮高時における陸上耐圧部又は軌条の長さ（m）		該当設備なし
	平均潮高時における水中耐圧部又は軌条の長さ（m）		
	傾	斜	
	引揚機の力量		
備考			

船殻ブロック組立定盤及びこれに準ずるもの	番号	設置場所	面積（㎡）	使用し得るクレーンの台数及びつり揚能力	備考
	1	大組定盤	20,000.00	600T/300T × 1基	屋外
	2	大組定盤	15,000.00	10T × 2基	屋外

重 量 物 運 搬 設 備	場 所		種 類	数	最大つり揚 力量（t）	最大つり揚 高さ（m）	最大つり出 距離（m）	移動距離（m）	備 考
	船建造 ドック 引揚船 台係 及び	第1船台、大組定盤	ゴライアスクレーン	1	600T/300T	80	160	600	
		大組定盤	門型クレーン	2	10	30	70	300	
	屋組 外立 場場 関係 係	屋外作業場	門型クレーン	3	20	40	70	200	
	屋関 内内 作業 場係								
	鋼関 材置 場係	鋼材置場	門型クレーン	1	10	7	—	100	
	修関 繕ド ック 係								
そ の 他									

- （備考） 1. 本報告書の対象工場は総トン数500トン以上又は長さ50メートル以上の鋼製の船舶の製造設備を有する造船工場である。
2. 船台、ドック及び引揚船台欄の平均潮高とは、水路業務法施行令（平成13年政令第433号）第1条の表備考第1号にいう平均水面をいう。
3. 本報告書には、工場全体配置図を添付すること。